


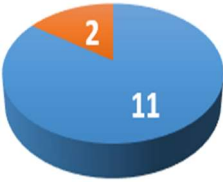

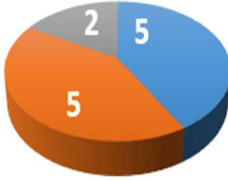


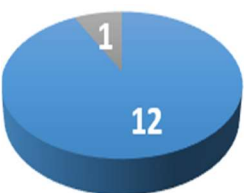
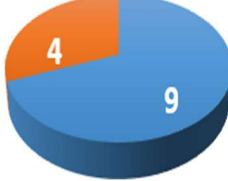
令和4年度 事業者向け 児童発達支援自己評価表(公表)








13/13 回収率 100%

公表 令和5年6月

事業所名 中野区子ども発達センターたんぽぽ

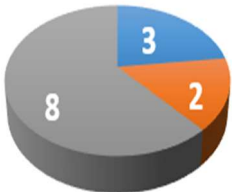







		チェック項目	回答結果 ■はい ■どちらともいえない ■いい	意見	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		①4・5名利用の場合感染症防止対策における観点からすると距離が近い ②1日の利用人数が少ない日が多いため	・感染対策を行いながら、可能な範囲でスペースを確保していく ・利用状況によるが、リハ室や放課後等デイサービス活動室の活用もしながら対応していく
	②	職員の配置数は適切であるか		①安定した出勤と欠員がなければよい ②基本リーダー+1で対応できているが、退職した職員の補充ができていない ③一人欠勤が出ると他職員に大きな負担がかかる日がある。配置人数を増やしてほしい ④欠員が出ている	令和5年度になり補充をしている
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		バリアフリーはされているが、構造的に使いづらいのではと感じる部分はある	構造的な部分での改善は難しいと思われるが、使いづらさを感じている部分は洗い出して対応策を検討していきたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか		時々流しのところの匂いがきついことがある(下水の匂い?ピューラックスで消毒してみたりしているが改善されないため、場合によっては業者に頼む必要があると思う)	・改善に向け清掃業者に依頼する ・汚れ等気付いたら速やかに掃除や整理を行い、活動後の点検においても掃除や教材等の整理を行うことを、全職員で再確認する
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			業務改善は、案件の内容によって主導する職種(福祉職・看護職・リハ職・事務職)や職制で異なるが、事業担当者会議・専門職会議・職員会議等で職員全員が参画し、迅速に対応する流れにある
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			ガイドライン保護者評価のほか施設単独アンケートの結果は、職員へ周知し、検討事案においては各会議で検討し業務改善に繋げ、その対応を保護者各位にお伝えしている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			毎年、保護者会等で報告し法人本部のホームページに掲載し公表している

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を定期的実施し、業務の見直しや改善に繋げている ・第三者委員への実績報告、助言をいただき改善に繋げている
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<p>①コロナ禍のためオンラインであることもあるが確保できている</p> <p>②コロナの影響で機会が減っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も業務に支障がない程度に、必要に応じた研修参加の機会を増やしていく。また、施設内研修を実施していくことを検討する ・個人調書をもとに必要な研修の機会を提供していく
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			一部実施しているが、業務内において、カンファレンスを実施することは難しい状況がある。時期や頻度を検討しながら必要に応じて実施を検討する。また、会議や振り返り等で、個別ケースを話す時間を活用していく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			某療養介護施設が使用するツールを試用し運用方法等を検討していく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか			集団療育をメインとしており、暦事（季節）・自然（散歩、園芸）・運動（ムーブメント、レクリエーション）・リラクゼーション（スヌーズレン、アロマ、マッサージ）・創作（感触、製作）・視聴覚（音楽、楽器）など万遍に取入れ、お子様に偏りなく提供する中で、個別に合わせた支援を行っている。就学や保育園等を併用される場合には、申し送りを行い、他機関との連携・情報共有においても積極的に参加し支援に繋げている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか			日々の記録は個別支援計画の内容をチェック出来る書式を用いており、支援内容に沿った記録になるよう点検していく
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		行事等話し合うことが増えている	個別に相談して立案しているが、チームとして立案が出来ている状況ではない。しかし、業務上、分担をして実施していくことが望ましいため、定期的に意見を集める等で対応していく
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		偏らないよう配慮しているがバリエーションは少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用児が楽しく活動参加が出来るよう定期的に見直しをする機会を設け、バリエーションを増やしていく ・福祉職以外でも良いプログラム案があれば意見を求めていく

⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		<p>①個別より集団を優先している。機会あれば個別で実施</p> <p>②利用人数や職員配置などによって個別活動が難しい場合がある</p>	原則は集団療育をメインにしているため機会は少ないが、必要に応じてグループ分けや個別の対応の実施を試行していく
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		朝のミーティングで確認している	出勤時間により参加出来ない職員もいるため、フォローしていく
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<p>①多機能型のため放デイと重なることから振り返りが行えない</p> <p>②放デイとの兼ね合いでできないこともあるが、口頭やケース記録などで情報を共有している</p> <p>③できていないため朝の申し送りや個別で対応</p> <p>④最近毎日の振り返りはやらないこともあるが何かあれば個別に申し送っている</p> <p>⑤個人的に相談することが多い</p> <p>⑥振り返りの時間を取るのが難しかったり、勤務時間的に参加できない時もある。記録を読んだりではできるが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の利用状況により、出来ない場合には個別での対応や朝の打ち合わせで共有できるようにする。また、各自が活動記録を確認することも周知していく ・欠員補充が整い次第、実施していく
⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		個別支援計画に沿った記録内容にすればモニタリングがやりやすいのと感じることもある	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員においては日々の個別記録を見る機会がないため、その分を振り返りや打ち合わせでフォローしていく ・職員により記録の仕方や内容に差があるため、記録の際は前回の記載内容を把握した上で個々の支援内容に沿った記録を行うこととし、記録内容に連続性を持たせる記録方法の平準化を図る
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録の際、支援計画実施内容をチェックしている ・モニタリング時期にはケース会議を行い、見直しをしている
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			対応出来る職員を増やしていく また、情報共有を強化していく
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		利用者によって差はある	必要な児童においては連携しているが、全員が行えている状況ではない。 必要に応じた対応を今後もしていく

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			嘱託医、児童の主治医とは保護者を介して、就学に向けては学校との連携は行っている 他の関連機関に関しても必要に応じ連携し対応している
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			利用児童はそれぞれに主治医を有しているため、保護者を介して主治医の医療ケア指示書(当事業所様式)をいただき、保護者より事業所の嘱託医と看護師へ係る手技等をレクチャーしていただいている
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		保護者を通して様子の把握はしている	必要に応じて対応を行っているため、引続き実施していく
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			学校や教育委員会と連携を行い、申し送り文書作成及び対面式で申し送りの機会を設けている
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		①必要に応じて ②他事業所と直接的な交流は持っていない。ノートを通してや保護者を介してなど	・頻度は少ないものの、必要な研修参加はしている ・対象児が重症心身障害児で要医療的ケアも含むため、積極的な意見交換等は行っていない ・一部であるが他事情所との連携が出来ている
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		利用児が易感染症のため消極的	利用児童(重症心身障害)の特性から、感染症の心配もあり慎重に対応したいと考えている
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		コロナのため実施なし	構成メンバーなのでその都度参加している
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			年2回の面談以外でも連絡帳や電話連絡での情報伝達は細やかに行うよう心掛けている
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		①随時相談に応じているが家族支援プログラムはない ②部分的	ペアレント・トレーニングとまではいかないが、ご相談やご質問等に対し、その都度対応している	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			契約時や変更あった場合には、面談や保護者で説明を実施している 運営方針や運営規程、苦情窓口など玄関エントランスホールの壁に掲示している
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか			実施している
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		①定期個人面談の他、随時相談に応じる ②自分から保護者の悩みを聞き出すことはできていない。他職員は行っていると思う	・日々の連絡帳・面談・健診・個別リハビリ等で必要な対応を行っている ・日常会話などを通して相談しやすい雰囲気を作っていく
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			保護者会開催時に保護者懇談会の時間を設けている
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか			保護者会、各アンケート、連絡帳、電話等で頂いた相談や申し入れについては、迅速に対応するよう努めている また、ご意見箱の設置や苦情処理システムをエントランスホールに掲示している
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			日常的には、連絡帳や電話で情報交換しているが、月の予定表やたんぽぽだよりを年4回発行している 必要に応じて、書面やメールで連絡事項をお伝えしている
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか			引き続き、注意し対応していく
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			職員には子供の些細な動きから発信される意思を読み取る観察力と洞察力を養うため、職員間で検証の機会を設けるなどの努力を求めている

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		①コロナのため実施なし ②コロナの影響もあり難しい	対象児の特性上、積極的な実施が難しいが、コロナ感染状況を見ながら、少しずつ関わりの機会を設けていきたい
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		①職員には周知できているが保護者にはできていない部分がある(災害関係など) ②不十分である	・職員への周知は出来ているが、保護者への周知は不足しているため、周知方法を検討していく。また、実施内容や経過報告も含めてお知らせしていく ・緊急医療情報連絡票を新たに作成(緊急時に丸一日たんぼぼで過ごすことを想定し、緊急連絡先や児の一日の生活の流れなど記入)
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			・不足している部分はあるが、概ねの備えと訓練は実施している ・今後も更なる整備をしていく
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			・新規児童より予防接種実施の確認表を使用し把握に努めている ・把握している内容は医ケア一覧表に記載しており、ケースファイルでも確認が可能である。各自で確認及び看護師に確認していく
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			・利用契約前の健診や初回通園時等で必ず確認を行っている ・医師の指示書や学校での対応を参考にして施設でのアナフィラキシー時の対応方法をマニュアル化している
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			ヒヤリハット等が発生した際、回覧用報告書で素早く周知する体制にある 毎月の事業担当者会議で改善策を立て施設長の承認を得て、全職員が確認の署名を終えてファイル化している 毎月の職員会議で件数・内容を確認し、年度末に集計・分析を行い予防に繋げている
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			行政が開催する虐待防止・権利擁護・身体拘束の適正化等の研修に参加している
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			対象児がいる場合には、速やかに身体拘束に関する説明及び同意書の作成を行い、職員間及び嘱託医と共有の上、保護者への説明と同意を得る手順にある。また、その内容等は期間を設け見直していく